

横浜市少年野球連盟（学童部）大会に関する注意事項

(2017)

大会規定も含め、指導者、選手、応援者等に徹底させること

(1) 選手

- グローブからの指出しを禁止する。
- 投球練習（控え投手も含む）のときに、捕手はマスク・ヘルメット・プロテクター・レガーズ・ファールカップを着用すること。
- 投手は手首へのサポーター、リストバンドの使用を禁止する。負傷により包帯等が必要なときは、球審及び本部の承認を得ること。
- ベンチ前にグローブ、バット、ヘルメット等の用具を置かないこと。
- 次の試合の投球練習は、5回以降又は試合終了予定30分前からとする（バッテリー1組とする）。危険防止のため、指導者を1名配置する。ベースの持ち込みは差し支えないが、投手板の持ち込みは認めない。
- 打者は投球練習中ネクスト・バッタースボックスで待機すること。
- 打者走者の1塁へのヘッドスライディングは禁止する。

(2) 指導者

- 監督、コーチ以外もチーム帽を着用し、スポーツの出来る服装とすること（ただしユニフォームの着用は認めない）。半ズボン、スカート、革靴は認めない。タオル等を首に掛けないこと。
- グラウンド周辺での練習（ランニング等）を行わせる場合、周辺住民や他の競技の邪魔にならないよう充分配慮し、無用なトラブルを避けること。
- 球場外でのバットの使用（選手も含む）を禁止する。
- メンバー表は主将会議時配布の指定用紙（ケンコーボール製）にて本部へ3部提出すること。
- 監督、コーチのユニフォーム（ストッキング、アンダーストッキングも含む）は、選手と同一とすること。
- 指導者等は、試合中グラウンド外へ出た場合は再入場を認めない。
- 監督が不在の時は、代理監督（コーチ29又は28）が大会本部へ報告すること。
- 選手に対して怒声・罵声を浴びせることは厳に禁止する。
- 相手選手のプレーを惑わす言動は禁止する。

(3) 応援者

- 野次など目に余る行為があったときは、当人に厳重注意するとともに当該チームの監督を退場させる場合もある。
- バックネット裏でのビデオ・写真の撮影や観戦は禁止する。
- ゴミは持ち帰ること。また喫煙は決められた場所でのみ行なうこと。

(4) その他

- シートノックは、原則として第一試合のみ5分間行う。
内・外野2ヶ所でのノックを認める。内野手を越えてのノックは認めない。
内・外野ともに補助員はヘルメットを着用すること。
(シートノックの時間が短いので指示に従い速やかに行うこと)
- 試合前、練習時のノックを認める(ただし、2面試合会場は第一試合のみ認める)。
- 試合前、外野での素振りを認める。
安全には十二分に配慮し必ず指導者の監視下にて行うこと。
(選手はフェールラインに沿って充分間隔を空け、整列して行うこと)
ただし、大会本部の判断によっては出来ない場合がある。
- メガホンの使用はチーム1個とする。

【平成29年2月11日改正】

試合会場について

- ◎台町公園内には駐車場がありません。また行き止まりのため自動車の進入もできません。
- ◎神ノ木公園内には駐車場がありません。公園入口前での乗降も厳禁です。
- ◎富岡西公園の駐車場は利用できません。また南側市道での乗降も厳禁です。
- ◎新横浜公園にてイベント等が開催されている場合は駐車場が満車になりやすいので、早めの移動をお願いします。
- ◎他の試合会場の場合も必ず大会本部の指示に従って下さい。
- ◎近隣の住宅の迷惑となるような行為は厳に慎んでください。